

せとものフェスタ2015  
瀬戸市美術館特別展

# 瀬戸の陶芸

瀬戸の伝統  
そして創造へ

2015.4.18|土|→6.28|日|

開館時間 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)、初日は午前10時開館  
休館日 5月12日(火)、6月9日(火)  
主催 せとものフェスタ2015実行委員会、公益財団法人瀬戸市文化振興財団  
瀬戸市美術館、NHK名古屋放送局、NHKプラネット中部  
助成 公益財団法人せとしん地域振興協力基金  
入館料 大人：700円(560円：20名以上の団体)、高大生：300円(240円：20名以上の団体)  
※中学生以下、妊婦、65歳以上の方、障害者手帳をお持ちの方は無料



瀬戸市美術館  
Seto City Art Museum

左：粉紅青雲硯 1965年 高21.1cm 個人蔵  
右：胎動雨花甕子 1967年 高41.4cm 個人蔵  
青雲：青嶺部岡文塊 1956年 幅36.2cm 個人蔵



岡部嶺男は大正8年(1919)、愛知県東春日井郡瀬戸町(現：瀬戸市窯神町)の窯道具製造業の家に生まれ、昭和7年(1932)、愛知県立瀬戸窯業学校(現：愛知県立瀬戸窯業高等学校)に入学し、やきものづくりの道へと進むことになります。昭和12年(1937)に窯業学校を卒業後、本格的に作陶活動に入りますが、昭和15年(1940)には入営することとなり、戦地を転戦した後に、昭和22年(1947)には無事に復員します。その後は愛知県西加茂郡猿投村平戸橋(現：豊田市平戸橋町)に居を構え、本格的に作陶活動を再開すると、織部・志野・黄瀬戸・灰釉・鉄釉などの瀬戸の伝統的技法をもとに作域を広げていきます。そして、器面の全体に自らの情熱を叩き付けたかのように縄文を施した織部や志野の作品や、「嶺男青瓷」とも称される独自の釉調や釉色を醸し出した青瓷の作品など、国内外で高い評価を受けた作品を次々と発表していき、昭和43年(1968)に愛知県日進町(現：日進市)に新たなアトリエが完成した後も、精力的な活動を展開していきます。

今回の展覧会では、「土・造形・釉という素材が人という要素との結びつきによって具体的な陶器たり得る」と語った、情熱に満ち、独自性に富んだ岡部の作陶活動の初期から晩年までの作品約120点を一堂に展示します。瀬戸出身の岡部嶺男の展覧会が開催されるのは、地元瀬戸では初めてのこととなります。

本展により、古典の単なる模倣を超えて、自らの美意識を作品に映し出すことに生涯をかけた岡部嶺男の軌跡と、その作品の素晴らしさや魅力を感じて下さい。



I 嶺男陶芸の軌跡



II 嶺男青瓷の世界



- I 1 釉彩壺 1954年 幅35.2cm 個人蔵
- 2 練込志野縄文花器 1956年 幅39.0cm 東京国立近代美術館蔵
- 3 灰釉水指 1969年頃 幅20.4cm 個人蔵
- II 4 窯変青瓷縄文冊 1968年 高さ39.6cm 個人蔵
- 5 窯変米色壹盤 1978年 口径15.1cm 個人蔵
- III 6 黄瀬戸小鉢 1935年 口径12.1cm 個人蔵

関連事業

**講演会「岡部嶺男の陶芸」**  
 講師：唐澤昌宏氏(東京国立近代美術館工芸館工芸課長)  
 日時：平成27年5月23日(土) 午後1時30分～午後3時  
 場所：瀬戸市文化センター文化交流館22会議室  
 定員：80名(定員を超えた場合は入場をお断りすることもあります)  
 ※事前申し込み不要、参加費無料

**スペシャルギャラリートーク**  
 (岡部嶺男氏の娘である美喜氏による作品解説)  
 講師：岡部美喜氏  
 日時：平成27年4月18日(土) 午後1時30分～  
 場所：美術館展示室  
 ※事前申し込み不要、要入館料

**ギャラリートーク(当館学芸員による作品解説)**  
 日時：平成27年5月9日(土)・6月7日(日) 両日とも午後1時30分～  
 場所：美術館展示室  
 ※事前申し込み不要、要入館料

**近隣施設のご案内**  
 瀬戸蔵ミュージアム TEL:0561-97-1190  
 「本業焼」 4月11日(土)～6月28日(日)  
 瀬戸市新世紀工芸館 TEL:0561-97-1001  
 「愛知教育大学-陶とガラスの造形展」  
 3月28日(土)～6月21日(日)  
 瀬戸染付工芸館 TEL:0561-89-6001  
 「瀬戸染付小品の粋」 4月4日(土)～6月29日(月)

愛知県陶磁美術館 TEL:0561-84-7474  
 「プラハ国立美術工芸博物館所蔵 耀きの静と動 ポヘミアン・グラス」  
 4月11日(土)～5月24日(日)

次回展覧会  
 生誕120周年記念・特別展「北川民次展」  
 7月4日(土)～9月27日(日)



交通案内  
 JR名古屋駅から(所要時間約1時間)  
 地下鉄東山線で「栄」へ。名鉄瀬戸線に乗り換え「栄町」から「尾張瀬戸」下車、徒歩13分。  
 ・「名古屋IC」[「長久手IC」]から(所要時間約30分)  
 東名高速道路「名古屋IC」[「長久手IC」]を降りて瀬戸方面へ。グリーンロード「愛・地球博記念公園」また「八幡IC」まで行き、左折(北)し、瀬戸市街地へ。  
 「せと赤瀬IC」から(所要時間約10分)  
 東海環状自動車道「せと赤瀬IC」を降りて瀬戸方面へ。

瀬戸市美術館  
 Seto City Art Museum

〒489-0884 愛知県瀬戸市西沢町113-3  
 TEL 0561-84-1093 FAX 0561-85-0415  
 E-mail art@city.seto.lg.jp URL http://www.seto-cul.jp/